

マーケットの動き（2021年6月28日～7月2日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいとなりました。29日に日銀の国債買入れオペの減額が発表され金利が上昇する場面も見られましたが、今後3か月の買入れ額を据え置くとの発表が安心感につながり、前週末とほぼ同水準で週を終えました。クレジット市場は、引き続き投資家の買い需要、利回り確保ニーズは強く、堅調な展開が続きしました。

投資環境見通し（2021年7月）

長期金利は低位で安定

国内長期金利は、世界的な景気回復を背景とした金利上昇圧力を受けるものの、6月の日銀金融政策決定会合で現行の緩やかな金融政策が維持されたことや、緩慢な内需回復による低インフレ環境などもあり、長期金利は低位で安定した推移を予想しています。

	7月2日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.05	0.00	▲0.03	0.03	0.01
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	387.68	0.12%	0.32%	0.15%	0.50%

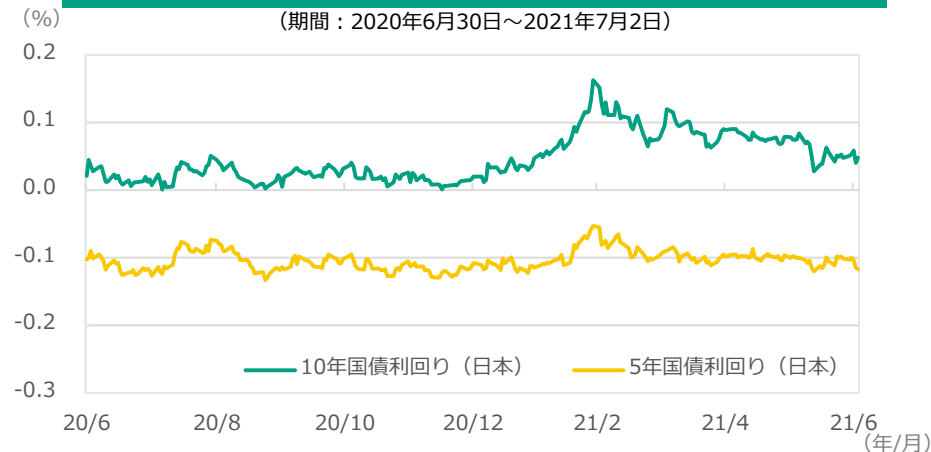
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202107_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移



野村BPI総合指数の推移

